

頸動脈ステント留置術 治療計画表














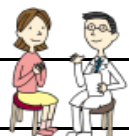


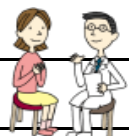
穿刺部: 上腕から 大腿から

患者 _____ 殿

医師 _____
看護師 _____

薬剤師 _____
管理栄養士 _____

理学療法士 _____
パス開始日 _____

日付	外来 /	前日 /	当日 術前 / 術後	術後1日目 /	術後2日目 /	術後3日目 /	術後4日目 /	術後5~7日目 /
目標	治療の必要性を理解でき、不安なこと、分からないことは質問することができる			活動制限を守ることができる 頭痛、しびれなどの症状があれば知らせることができる			食事をしっかり摂取できる 退院後の生活に不安がない	
点滴		腎機能障害がある場合には点滴をします	腎機能障害がない場合 治療1時間前に点滴を開始します	点滴があります	点滴があります 	点滴があります	食事が十分に摂れない場合は、点滴があります	
内服	内服中のお薬を確認します	医師の指示により、服薬して下さい		お薬はありません	お薬が再開されます 			
処置	身長・体重を測ります  治療の予定時間 時 分頃の予定です	ガウン式の病衣に着替えます アクセサリ類は外して下さい		酸素が投与されます	創の処置があります	このような症状があればお知らせ下さい 頭痛、しびれ、麻痺 		
		上腕から	・前腕に印をつけます ・治療前に排尿をすませます	・副え板をして包帯固定します	・回診後に副え板を除去します			
		大腿から	・足の甲とくるぶしに印をつけます ・排尿のための管を入れます	・装具を用いて固定します ・寝返りはできますが、座ったり立ったりはできません	・回診後に固定装具を除去します			
検査	採血、心電図、胸のレントゲンなどの検査があります 				頭のMRI、頸部エコー、脳血流を調べる検査があります	採血します 	採血します	
検温		1日に2回体温や血圧を測ります	朝と治療前に測ります 	術後12時間までは1時間、その後2時間毎に測ります	回診後6時間毎に測ります	1日に3回測ります	1日に2回測ります 	
安静度	制限はありません			ベッド上で過ごします	肘: 検査後病棟内は自由です 足: 検査後車椅子です	足から: 病棟内自由です	制限はありません 	
清潔		シャワーに入れます			お体を拭きます	シャワーに入れます 		
排泄		トイレで排泄できます	大腿より治療する方は尿の管が入ります	ベッド上での排泄となります 	医師確認後尿の管を抜きます 検査後、トイレで排泄できます	トイレで排泄できます 		
食事		指示されたお食事です ※可能な範囲でご希望に沿います	お昼から食事はできません 	帰室後より水分が摂取できます	朝から食事は再開します 			
リハビリ		必要時はリハビリがあります	リハビリはありません		必要時はリハビリが開始されます			
その他	医師より治療の説明があります	看護師より入院生活について説明があります		医師より手術結果の説明があります	医師より検査結果の説明があります	医師より今後について説明があります 退院後の生活について説明があります		